

2種混合予防接種に関する説明書 (ジフテリア・破傷風)

1. 2種混合ワクチンとは

ジフテリア・破傷風の原因となる細菌から毒性を除き、抵抗力(免疫)をつくるのに必要な成分を取り出してつくった不活化ワクチンです。

11歳以上13歳未満の間に2期として1回接種を行います。

2. 病気の説明

◆ジフテリア

ジフテリア菌の飛沫感染によって起こる病気です。のどや鼻に感染し、症状は高熱、のどの痛み、犬の遠吠えのような咳、吐き気などで、のどに膜のようなものをつくり窒息死することもあります。発病後2～3週間で菌の毒素により心筋障害や神経マヒをおこします。

◆破傷風

破傷風菌は土の中にひそんでいて、小さな傷口から感染し体の中で増え、毒素が出始めると口が開かなくなったり、けいれんをおこしたり、死亡することもあります。

3. 2種混合ワクチンの副反応について

「健康状況調査報告」によると、注射部位の発赤・腫れ・しこりなどの局所反応が主です。

なお、しこりはだんだん小さくなりますが、数カ月残ることがあります。

通常高熱はできませんが、接種後24時間以内に37.5℃以上の発熱をおこすことがあります。機嫌が悪かったり、腫れが目立つとき(肘をこえて上腕全体が腫れる)などは医師にご相談ください。

4. 健康被害救済制度

定期の予防接種によって引き起こされた副反応により、医療機関での治療が必要になったり、生活に支障が出るような障害を残すなどの健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく給付を受けることができます。

ただし、その健康被害が予防接種によって引き起こされたものか、別の要因によるものかの因果関係を専門家からなる国の審査会にて審議し、予防接種によるものと認定された場合に給付を受けることができます。

5. 予防接種を受ける前の注意事項

予防接種は体調の良いときに受けるのが原則です。日頃の体質、体調など健康状態を知っておくようにしましょう。

- ①受ける予定の予防接種の効果や副反応、健康被害救済制度について説明書をお読みいただき、理解した上で接種をお受けください。わからないことがある場合は接種を受ける前に質問しましょう。
- ②他のワクチンを接種した場合、その後の接種間隔を各予防接種説明書で確認してください。
- ③当日はお子さんの健康状態をよく観察し普段とかわりないことを確認しておいてください。体調が悪いと思ったら、かかりつけ医に相談の上、接種するかどうか判断するようにしましょう。
- ④予診票は接種をする医師への大切な情報ですので、責任を持って記入してください。
- ⑤母子健康手帳を必ずお持ちください。

6. 予防接種を受けた後の一般的注意事項

- ①接種後 30 分は急な副反応がみられることもありますので、接種会場でお子さんの様子を観察してください。
- ②微熱、接種局所の発赤・腫れ・しこり、発疹など認められることがありますが、通常の免疫反応であり、数日以内に自然に治るので心配の必要はありません。
接種局所のひどいはれ・高熱・ひきつけなどの強い副反応の症状がありましたら、医師の診察を受けてください。また、診察の結果につきましては下記の市町村担当課までご連絡ください。
- ③入浴は差し支えありませんが、注射した部分をこすらないようにしてください。
- ④接種当日は、はげしい運動は避けてください。

令和7年度版
茂原市長生郡医師会
長柄町福祉課